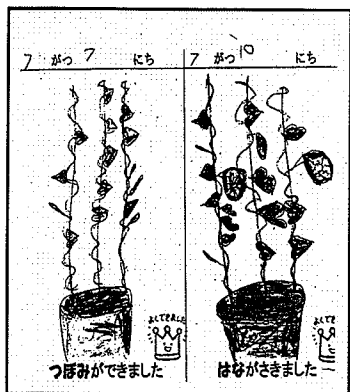


ニューヨーク補習自授業校

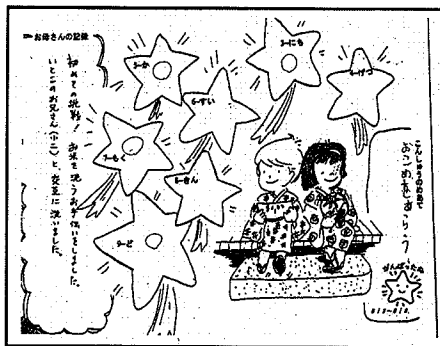
WT・A校夏休み特集号

2008年9月13日発行
914-636-3770
56 Harrison Street 204
New Rochelle, NY 10801

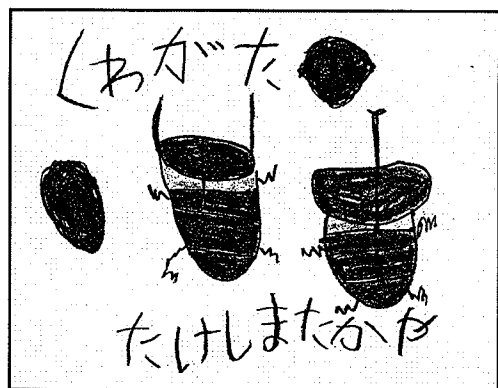
平成二〇〇八年度 夏。キャンプ、家族旅行、帰国、体験学習、プレイデイト……。かけがえない思い出がぎゅっしりつまったこの夏。夏休み中の日記や作文・自由研究などから、夏休みの様子をつづったWT校、A校の子どものすばらしい作品を紹介いたします。自分の思い出や貴重な体験と重ね合わせながら、楽しかった夏休みを振り返ってみましょう。



「あさがおのかんさつ」
幼児部1組 本澤 世成



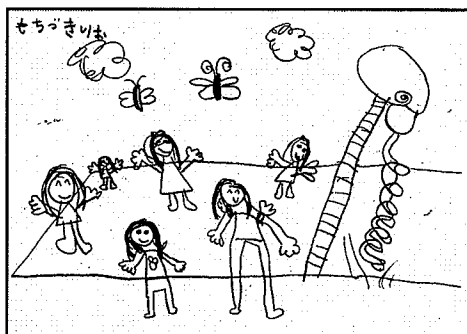
「なつやすみのおやくそくちょう」
幼児部1組 阿部 純子



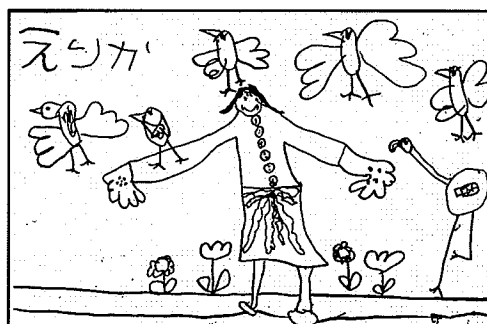
「くわがた」
幼児部2組 竹島 嵩也



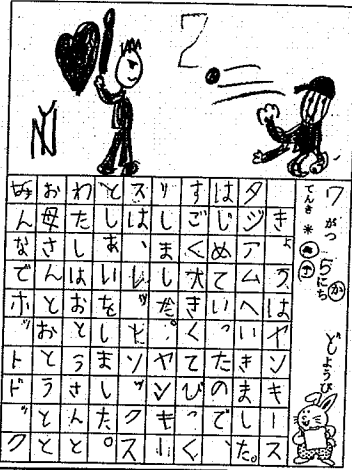
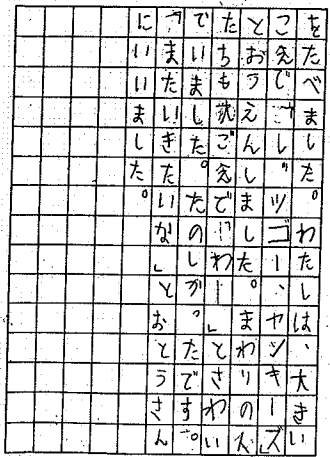
「あさがおのおと」
幼幼児部2組 豊村 真帆



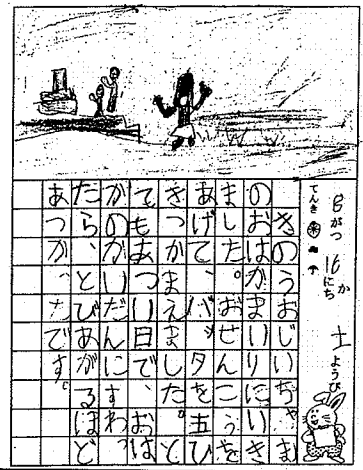
「夏はプールで遊んだ」
幼児部3組 望月 梨央



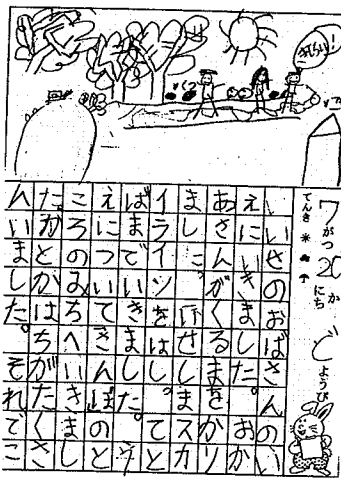
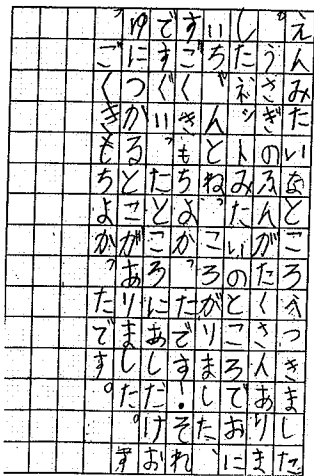
「おじちゃんと『かちょうえん』へ
いってえさをあげた」
幼児部3組 ポターフ恵吏加



初等部1年1組 グリーグ イザベル



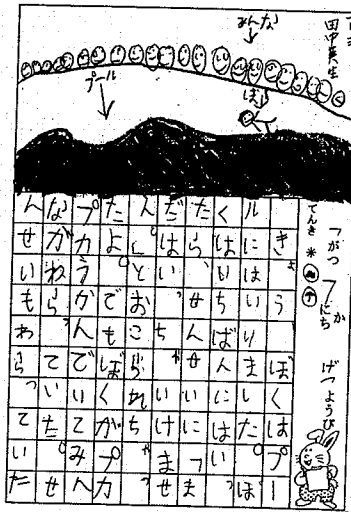
初等部1年1組 濱口 華蓮



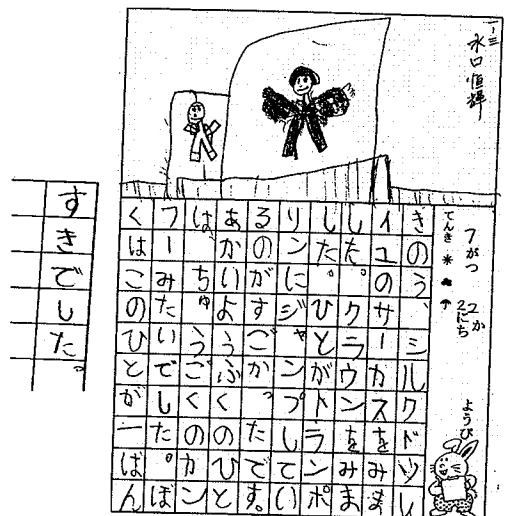
初等部1年2組 丸石 友己



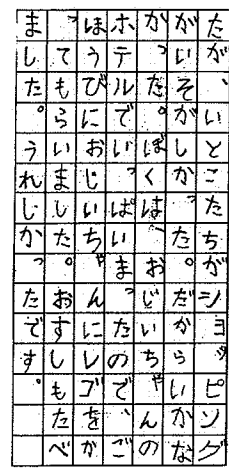
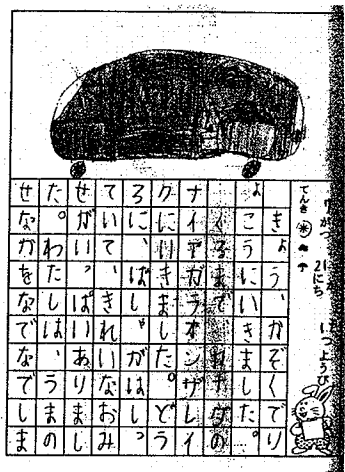
初等部1年2組 土居 夕莉



初等部1年3組 田中 英生



初等部1年3組 水口 恒輝



初等部1年4組 有馬 千尋

初等部1年4組 三井 大輝

今週の月曜日から金曜日までサンフランシスコに、
りよこうに行きました。
一ばん楽しかったことは、ケーブルカーがターンテ
ーブルでまわったのを見たことです。どうしてかとい
うと手でうごかしてたことと近くで見れたからです。二
ばんめにすきだったことは、フェリーにのって、ゴー
ルデンゲートブリッジの下を通ったことです。あとケ
ーブルカーでさかみちをおりるときがジェットコース
ターみたいで楽しかったです。さかみちが多いことが
あたまの中にのこっています。

サンフランシスコに行ったこと

初等部2年二組 久米 大雅

ぼくは、きょう、友だちのけんくんのいえであそび
ました。さいしよは、スイカわりをしました。ぼくの
ばんで、けんくんが、「まさこちゃん。」と言ったから、
あたまにきて、ぼうをつよくふったら、スイカにひび
が入りました。いえの中でけんくんに、まさこちゃん
とよんだおかえしをしました。

初等部2年一組 岩崎 雅矢

わたしは、バスにのってアンテロープというさばく
をみにいきました。
そこでさばてんの上に花がさいているのを見ました。
花はきれいだったけれども、さばてんのはりは、いた
そうでした。
さばくは、とてもあつかったです。

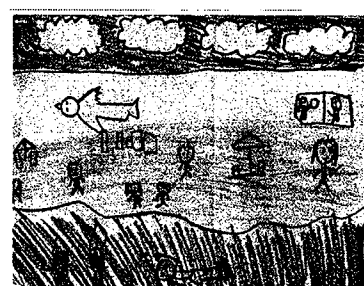
初等部2年一組 宇都宮 綾花

イエローストーンこくりつ公園で二ばん目に大きい
しかは、エルクです。
エルクが赤ちゃんるときは、せなかに中ぐらいのは
ん点がたくさんついています。そのりゆうは、てきか
ら食べられないようにしやがんでいるとはん点が目の
光だときが思ってた赤ちゃんとに気づかずにつ
てしまします。大人になると、はん点がきえておしり
が白くなります。オスは、つのが大きくて近くに行く
とつのでつつきそうです。メスはつのがなくてあま
りオスといどうしないで、メスどうしでいどうします。
ぼくは、エルクがしかの中で一ばんつよいと思いま
した。

イエローストーンのエルク

初等部2年三組 蟹江 燎真

ビーチバレーをしてたら、かもめがきて、ポテトチツ
プスを食べちゃいました。かばんの中に入れてあった
のに、かってに出て食べたのにびっくりしました。



夏休みかぞくでメインしゅうにりよこうに行きまし
た。アシカを見たり、ロボ
スターを食べたりしたけ
れど、わたしが一ばん楽し
かったのは、海に行ったこ
とです。なみのところにつ
ていけると、水がつめたく
て、足の下のすながなくな
っていくのがふしぎなか
んじでした。おかあさんと

初等部2年二組 吉川 舞香

「ながいながいペンギんの話」を読んで

初等部二年三組 仁尾 紗智乃

私は、この本でペンギンがどんなにがんばったかよみました。

これから私が思ったことを書きます。

まずさいしょ、だい一ぶで読んだことを書きます。

さいしょ、ペンギんのルルがうまれたとき、私は女の子だと思いましたが、男の子でした。そのあとキキが生まれて、おとうとでした。すごくかわいかったです。だつてああいう赤ちゃんペンギンがほしいです。

私はペンギンがいるところにいきたいです。ルルとキキは、大きくなつて先生になるかもしれないです。私もしもうきしまにいったらクジラもみれるし、アザラシがいるところにも一どでもいいから行ってみたいです。きつと私のかぞくはさむいと言うから、行かないかもしれないけれど、私はぜつたい行きたいです。

つぎ、私がだい二ぶで思ったことを書きます。

ルルとキキが海にぼうけんをはじめてルルたちのすきなオキアミを食べるために、ルルが海にぼうけんに行きました。でもルルは、いなくてよかったです。だつてその海にはシャチがいて私はルルが行つたらくわれちゃうと思いました。でもいかなかったので、私は安心しました。でもオキアミが食べなくて、かわいそうでした。

だい三ぶで終わります。

ルルはセイさんといてよかった。だけどセイさんは日本にかえつてしまった。ちよつとすごいなと思いました。あとセイさんにあつてみたいです。これで私のかんそう文はおわりですけど、ルルとキキは、がんばっていました。私は、この本のペンギンのことが好きです。だつて私のすきなごうつはペンギんです。これでおわり。

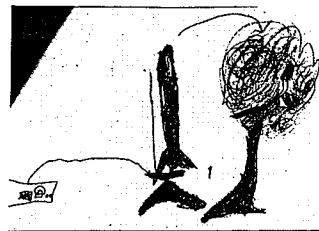
初等部二年四組 鈴木 玄

今日は、ロケット科学キャンプのさいこの日でした。一週間毎日がんばつて自分のロケットをつくりました。朝、バスにのつてうち上げをする場所に行きました。ロケットが高くどぶからあぶなくないように遠くの公園に行きました。

さいしょは、ちゆういすることを聞きました。やけどをしないように気をつけてと言われました。

つぎに、ロケットをうち上げるよういをしました。

さいしょにエンジンを入れて、はつしやだいにのせました。うち上げる前に「三百メートルぐらい高くどぶよ。」と教えてくれました。



ぼくが上げるばんがきた時、びよう読みをしてリモコンのボタンをおしました。「シュッ」と音がして、

て、すつごく高く上がりました。ぼくのロケットはまっすぐ上に上がつて見えなくなりました。みんなのロケットはパラシュートでかえつてきたけど、ぼくのは高い木にひつかかっちゃいました。ぼくは、「ロケットくんさようなら。」と手をふつて言いました。はつしや台をあとから見たらこげていました。

お父さんがビデオとしゃしんをとつてくれました。ロケットが上手に上がつてうれしかったです。らい年も科学キャンプに行きたいです。

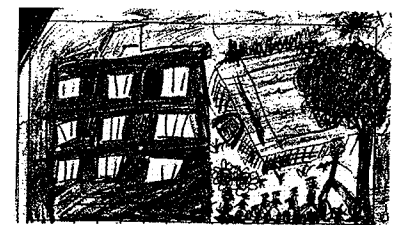
初等部二年四組

細野 露可

日本の小学校の体験入学一日です。黄色いぼうしをかぶり、黒いランドセルをしょつて、学校に歩いて

行きました。ぼくのクラスは、二年三組、校舎の三がいにありました。

友だちはきよねんと同じだったので、



「おお、細野、ひさじぶりだな。」と言つて、やさしくむかえてくれたのでぼくは、うれしかった。担任は小丸先生で目がねをかけた女の先生です。先生が、ぼくのくつ箱に、名前を書いてくれました。ここでうわぐつに、はきかえます。

自分のランドセルを入れるたなもあります。

みんなで、学校のプールでおよぎました。すごくあつ日だから気持ち良かったです。

給食はおやこどんぶりで、おいしかったです。

にいがたへの旅行

初等部三年一組

富田 一路

ぼくは、日本に来て、いとこの家ぞくとぼくの家ぞくで、にいがたへ旅行に行きました。

その中でぼくが一番楽しかったことは、いなかたいけんにさんかしたことです。午前中には、じゃがいもほりとかぶと虫とりをしました。ぼくはかぶと虫とりで、メスを二ひきつかまえました。一ひき目は、木の高い所にいたのでジャンプしてとりました。二ひき目は、木のね元にいました。その後、さらに三ひき見つけましたが、全部死んでいました。ぼくがきたいしていたコクワガタを見つけた人もいて、すごくうらやましかったです。決められた時間が来た時、ぼくは、おじさんからかぶと虫のオスをもらつて、メスをあげました。

お昼ごはんは、コシヒカリのおにぎりを食べました。お米は、ふつくらとしていたのでたくさん食べてしま

いました。そして、午後のかつどうにかかりました。楽しかった旅行でした。

イタリアに行ったよ

初等部三年一組 依田 茉莉

七月二十二日から八月四日までの二週間、わたしとお母さんでイタリアのピアノキャンプに行きました。わたしのピアノの先生と私の先生の先生とその生とで行きました。大先生の名前はコスモ先生です。私たちはトレンティーノと言う所でピアノのキャンプをすごしました。トレンティーノのホテルからピアノの学校まで三十分ぐらい歩きます。そこでは、毎日二時間くらいピアノをれん習しました。そこには六つの部屋があつて、その部屋にはエアコンもないし、せん風きもありませんでした。だから、あつくてあせをたらだらながしながらピアノのれん習をしました。そして、そのピアノはどれも古いので、音が出ないピアノもありました。れん習の帰り道には、アイスクリーム屋があるので、毎日よって行きました。そこにはたくさんおいしいアイスクリームが売っています。私はいろいろなしゅるいのアイスクリームを食べました。キャンプのさい後に私の発表会がありました。私はショパンのワルツ三番とベートーベンのソナチネへ長調をひきました。私のえんそうが終わったあとみんなが、「ブラボー……」と言ってくれたのでとってもうれしかったです。また来年もこのピアノのキャンプにさんかしたいです。

グランドキャニオン

初等部三年二組

春日井 琳子

八月二十日にグランドキャニオンに行きました。ゆうごはんを食べにそとに出たら、いっぱい星がみえま

した。オリオンぎ、北斗七星、天の川を見ました。父も母も、天の川を見たのははじめてと言っていました。次の日、グランドキャニオンの日の出を見に行きました。もう少しで日がのぼりそうな時、

「SUN WAKE UP。」



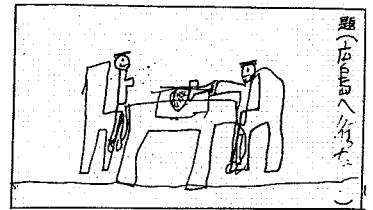
と言いました。一分たったら、お日さまがねむたそうな目で、山と山の間から顔を出しました。オレンジ色の光でした。光がこなくて、きつとちよつと頭をだして、どんどんでてきました。全部出ても、光がまぶしくなかったのは、お日さまも人間みたいに、さいしよはあまりちからが出ないからかなと思いました。まるでまん月みたいでした。けれどだんだん目がさめたのか、まぶしくなってきました。

ホテルにもどつてきてネイティブアメリカンフルートを買ってもらいました。その後、グランドキャニオンの谷を下つて、休けいとき、そのフルートのれんしゅをしました。ひくい音を出すのが、むずかしくてお母さんにこつを何回も教えてもらいました。チューリップの曲をふけるようになりました。ガイドのたかさんみたいにフルートがじょうずになりたいです。

広島へ行つた

初等部三年二組 沖 昇馬

金曜日家ぞくとおじいちゃんおばあちゃんて広島へ行きました。さいしよにおはかまいりをしました。ぼくはじゅずを手にあわせて、おまいりをしました。おじいちゃん、おばあちゃんとしんせきのおうちにあいさつに行きました。その後、おばあちゃんのじつかへ行きました。ついた後、広島やきを食べに行きました。

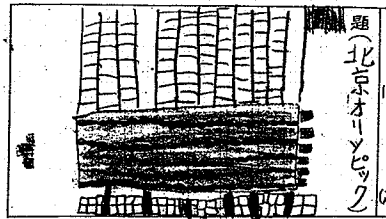


広島やきはふつうのおこのみやきとちがつて、もやしとキャベツをいっぱい入れてやきます。すごくおいしかったです。次の日、みんなて原ばくドームへ行きました。その中では世界ではじめて落とされた、原ばくのひどさを感じました。ぼくはせんそうなんて絶対しちやいけないと思いました。

北京オリンピック

初等部三年三組 桑名 亜里沙

わたしと家ぞくは東京から北京に五日間行きました。水泳のオリンピックきょうぎを見ました。北じません



しゅの二百メートル平泳ぎで金メダルをかったところを見ました。すごかったです。日本がかってうれしかったです。日の丸のたをだしておうえんしました。二番目はフランスの人、三番目はブラジルの人でした。オリンピックに行かれてとくべつでした。

後は万里の長じょうと天安門を見たり、北京ダックとヤムチャを食べたりして、さい高なけいけんでした。

自分で作ったピラミッド

初等部三年三組 廣田 優衣

この前わたしは、グリニッチポイントに行きました。とてもあったかくて、きもちのいい日でした。そして何でわざわざあの目に行ったかというと、その日には、どうやってすなで色いろ作るのかをやったでれかがたくさんすなで作ることになつていたので。でも、わたしはビーチに来た時は、もう作るのは終わっていました。だけど、作った物は、ちゃんとのこっていました。そしてかぞえきれないほどたくさんありました。人魚とえいとかえるとかめとおしとピラミッドとわにもありました。そして自分も作ろうと思ったので、一番かんたんそうピラミッドを作ってみることにしました。そして、しお水がまざつたすなの所でやりました。少しじめじめしていかいやごみが落ちていなくてとてもサラサラでした。すなをほつてみると水が出てきました。ふつうの海の水より少しくさかったです。もう少し太ようの下をほつてみると、コーラルにたような色でした。すなをかためて小さなピラミッドの形にしてもようをつけてやつとかんせいできました。そして少し海の中に入つて五分ぐらいたつと、ピラミッドは水でくずれてしまいました。せつかく作ったのにとってもさんねんでした。



二年四組夏休み

・夏休みに一番楽しかったことは何ですか。

安倍野映 日本にひっこしちやつたお友だちのみゆちゃんとキツザニアにいったときです。キツザニアは日本のにんきのところで子どもが大人の仕事ができるところです。

シヨベ志文 一番楽しかったのは、プールです。ななでかと言つと、泳げると気持ちいいからです。

長谷川瑛己 シックスフラッグに行つたときです。一日目は乗りものに乗つて、6時にすごいおいしいハンバーガーを食べました。食べているときにパレードが始まりました。ママが見てた時ぼくはこっそりマヨネーズをたつぷりかけてハンバーガーを食べました。二日目は世かいで一番大きいサファリパークに行きました。ぼくが一番好きな動物はバブーンでした。理由は赤いおしりがおもしろかったからです。

小谷萌 日本に行つた事です。おばあちゃんおじいちゃんにあえるからです。

熊田柊太 夏休みに一番楽しかったことはスプラッシュダウンビーチに行つたことです。

松原陸 フロリダのデイズニーへ行つた事が楽しかったです。

松井彩夏 サマーキャンプです。サマーキャンプで走ったりしていたからです。サマーキャンプで一番すきだったのはジムのキャッチボールです。

松浦航 キャンプです。ラーチモントのキャンプとテニスとサッカーキャンプに行つた事です。ラーチモントのキャンプが一番楽しかったです。学校の友だちがたくさん来ていたからです。

望月さや 一番夏休みに楽しかったことはハワイのマウイの山にいったときです。

村竹華奈 水族館に行つたことが一番楽しかったです。中畑空海 日本に行つたこと。

小野元暉 夏休みに一番楽しかったことは、空手の海げいこです。

プロクター利菜 一番楽しかったのはかぞくみんなと海に行つた時です。行つた時にエイもいたいろいろななかにたちがいてみんなとつかまえてみようとしたんだけど、たいへんすぎてできませんでした。

高橋祐里 お母さんといっしょに日本の運転免許証の更新に行つて交通ルールのビデオを見た事です。私は最初はつまらないと思いましたが、でも途中から面白くなってきました。お母さんが持つていた本私いっしょけんめい読みました。

竹内涼葉 日本に行つておじいちゃんとおばあちゃんと会つて自転車にのつた事が一番楽しかったです。

湯原翼 八月のはじめに家ぞくで旅行に行きました。メキシコとコロラドに十一日間行きました。コロラドでロッキンとまりいろんな動物が近くにいてよかったです。

半澤早紀 一番楽しかったことは、かぞくみんなで行きに行ったことです。おいしいごはんを食べられたからです。

初等部四年一組 山本 棕太

今日、ぼくの参加しているお泊まりスポーツキャンプで水泳のレベル分けをしました。上級に入れました。すごくうれしかったです。なぜなら、去年のYMCAキャンプで一番下のレベルだったからです。その時、ボードにしか乗れなかったもので、すごくやしい気分になりました。それで、家に帰ってから必死に水泳を習っていました。やっとな、上級に上がったので、特別にうれしいのです。

水泳のレベル分けて、二つのことをします。すきな泳ぎで五十メートル泳ぎます。YMCAのプールは湖です。水がにごっていたので、ぼくは前がよく見えず、曲がって泳いでいたようです。一度、横のかべがゴールのかべだと思って、「やったあー。」と思いました。そのかべをつかんだら、だれかがせなかを「ちよんちよん」とおしていました。ふりむいたら、ライフガードが「あつち」とじつさいのゴールのかべを指差していました。そのかべへ泳いで行ったら、なんとかそのテストにこうかくしました。次は、立ち泳ぎを二分間しなければ上級に入れません。ぼくはこれも前にやったことがあったけど、すごくむずかしかったです。最後の十秒のとき、「やったあー。」と思ったら、思わずしずみそうになったけど、なんとかぶじに上級に入れました。けつ局、一回だけボート以外のものに乗りました。もつとほかのもののりたかったけど上級に入れただけでうれしいです。

初等部四年一組 鍵富 太雅

僕はこの夏休みに、i9スポーツバスケットボールリーグに参加する事になりました。僕は、七才から九才のリーグに入り、四チームでリーグ戦をしていきます。

今日、その第二試合がありました。昨日の第一試合で、みんな初めていっしょにプレーをしました。びつくりするくらいチームワークがよくて、十九対九で勝ちました。それで今日も勝つ自信がありました。僕は先発の五人に入っていました。コートに立つて相手を見ると、

「相手は小さい、今度も勝てる。」と思いました。試合が始まりました。僕はボールを持ってすごい勢いでドリブルしながらレイアップシュートまで行きました。

「ウォー！」

僕がシュートを入れた時、かん客からかん声があがりました。僕とチームメイトのブライスは、シュートを

「サパツ、サパツ、サパツ。」

といれて、点数差が六から二十まで開き、僕達のチームがまた勝ちそうです。

「この調子でがんばって勝っていけば、ゆう勝できるかも。」

と思いました。点差が広がったので、僕とブライスは残り三分ベンチですごしました。最後二十六対八で勝ちました。僕とブライスは二人とも十点とり、僕は十リバウンド、ブライスは八リバウンドのかつやくでした。次の試合の相手は大きいですが、強い相手にも勝つようにがんばって、リバウンドやシュートをたくさん決めたいです。

初等部四年二組 前田 花帆

きょうの夜、マンタレイを見たんだよ。ううん、ちがう、ちがう、見ただけではなく、一緒に泳いだんだよ。

こわくなかったかって。もちろんこわかったよ。だって夜の海に入るんだもの。

「大丈夫だよ。大丈夫だよ。」

とお兄ちゃんがわたしをはげましてくれた。海に入る前に、係の人から、マンタレイの皮ふをさわらないようにと注意があった。知っていた？マンタレイの皮ふをさわると、体を守っている大事な物が取れちゃうんだって。

お兄ちゃんが船から海にとびこんだ。今度はわたしの番だ。うわっ冷たい。真っ暗で何も見えない。ちょっとドキドキしてきた。あつ、海のそこから光が見える。ダイバーがてらしているんだ。ライトショーみたい。何か大きい物が近づいて来た。みんなは息をのんだ。マンタレイだ。マンタレイが、マンタレイが、わたしに向かつて泳いでくる。ひらりひらりとやってくる。いったい何びきぐらいいるんだろう。わたしの目の前のマンタレイが口をグワツと開けた。おなかの中央で丸見え。すいこまれそう。けれど、マンタレイは魚も食べないから、わたしたち人間を食べるわけじゃない。マンタレイはプラנקトンを食べているんだよ。プラנקトンが光につられて集まって、マンタレイがそれを追いかけて、こんなに来るんだ。あつ、また大きいのが来た。光の中で泳いでいるマンタレイはまるでわたしのためにおどっているみたい。ハワイの海のマンタレイたち、わたしに会いに来てくれてありがとう。

初等部四年二組 高橋 千里

卓球は以前したことがあったけど、キャンプでやったから、ずいぶん上達した。トーナメント戦ではいつも負けてばかりだったけど、投げださないで最後までがんばった。

この夏、ぼくは、日米ウェルネスキャンプと言う泊まりのキャンプに二週間行った。行った期間は八月三日(日曜日)〜八月十五日(金曜日)だったのである。きぜつするほど冷たい湖のある山奥で三食とも日本食が出ないので、ぼくにとっては、すごくきつかった。しかし、学校でも、教科書でも、家でも、そのへんの公園でも体験できないなにかを学んだ。そんな言葉でも説明できないのだけれども……

このキャンプのおかげで、夏の思い出がまた一つふえた。

初等部四年三組 小林 武生

今日は、ぼくの家族みんなでジャスパールからカルガリーまで五時間かけて帰ることにしました。この帰る途中にいろいろな野生の動物に会いました。そして野生のくまもいました。そのくまはすこしちいさかったです。でもすごくこわそうでした。けどなんども写真をとったりこつちをむいてもなにもしなかったのでふしぎだと思いました。そしてずっと見ていたら森へ帰ってしまいました。そしてぼくたちも帰ろうと思ったたら前にこどもたちがなにかひろっていました。なにをひろっているのかなと思ったら、のいちごをひろっていたのです。そしてぼくもお母さんといしよにひろいにいきました。そしてぼくはだからくまはここにいたんだということがわかりました。ぼくはいろいろなしぜんがあるカナディアンロッキーにこれてよかったなと思いました。

初等部四年三組 坂田 宙紀

今日ぼくは、おじいちゃんといしよに朝早く暗いときにカブト虫とりに行きました。そして、最初の木に行ったら、メスやオスのカブト虫がいっぱいいました。それを見てぼくは、

「うわあ。カブト虫だらけだあ。」と思いました。今まで、おじいちゃんといしよに何回かカブト虫とりに行っただけど、一本の木に十匹もいたのは初めてのことでした。すごくうれしかったです。

オスはつかまえやすかったけど、メスはつかまえないのでつかまえにくかったので、おじいちゃんがつかまえてくれました。

次に、別の木に行きました。そこでは五匹つかまえました。今日で十五匹合計でつかまえました。

楽しかったです。

また今度行きたいです。

初等部五年一組 辰野 萌

ジムナスティックキャンプに行つて二週間が過ぎました。

今日、クレイジー・ソックスデーがありました。クレイジー・ソックスデーとは、自分のくつ下をいろいろ工夫してかざり、クレイジーに見せるコンテストです。

私は、なかなか良いアイディアを思いつきませんでした。そこで私は、お母さんに相談しました。お母さんはとても良いアイディアをくれました。それは、「楽器」です。くつ下にすずやいろいろな小さな楽器をくっつけて音をならしたらどうかということ。私はそのアイディアにさんせいしました。私は家の中や庭

の物をたくさんかき集めました。それはえだ、石、ビーズ、モール、ペットボトルなど、よく図工で使うような物です。最初、私はあみにビー玉、ビンのふた、石をつめて、安全ピンでくつ下の外側にとめました。次に家の地下に行きました。地下にはいろいろなガラクタがあるからです。私はそこですずをくつ下の内側に安全ピンでつけました。カプセルにビンのフタと石を入れてお母さんに糸でくつ下の内側にぬつてもらいました。そして最後にカスターネットをすずの下に付け、ペットボトルの中にビーズを入れて完成です。

私はこのアイディアでゆうしようし、メダルをもらいました。とてもうれしかったです。

初等部五年一組 勝又 凌

六月三十日にぼくの家族はカナディアンロッキーへ行きました。カナディアンロッキーは三番目に作られた国立公園なのです。

ぼくたちは、バンフという町に六日間泊まりました。この六日間の中で、たくさんのことをやりました。一番楽しかったことは、氷河の上に乗れたことです。ぼくたちは雪上車に乗って氷河まで行きました。氷河に着いたら、雪上車から降りて氷河に乗れます。氷河から水が出てきている所があります。その水は、他の水よりおいしかったです。

氷河に乗れたのは、とても特別な出き事で、一生わすれません。

初等部五年一組 落合 涼

ぼくは夏休み中に四泊五日でバーモンド州に行つてきました。ホテルは、ストウーマウンテンロッジという所に泊まりました。

カヤックやバイキングやサイクリング、乗馬などし

ましたが、中でも熱気球フェスティバルに行つたのが、楽しかったです。

二十二位の熱気球が次々と順番に飛んで行きます。カラフルなデザインがきれいでした。ふくらませる時にボア―と火を入れていて燃えないのかなと、思いました。でも最後にきれいに、飛びたちました。また見に行きたいです。

初等部五年二組 井上 遼

今日は、ヨセミテの近くのホテルから、ロサンゼルスのホテルに車で四時間かけて行きました。とちゅうはぼくはねてたけど、目がさめた時に外を見たら、高い山がいっぱいありました。

ホテルについたら、ちよつと休憩しました。ホテルから外を見たら、飛行機がいっぱい飛んでいました。なぜならそのホテルは空港の近くだったからです。休憩した後、ハリウッドに車で三十分かけて行きました。とちゅうで、ハリウッドのかんばんが見えました。ぼくは車の中で、必死になつて有名人を探していました。でも、有名人は一人もいませんでした。

ハリウッドについたら、ロックウオークのギターセクターと言うところに行きました。ロックウオークとは、ロックバンドのどんどう入りした世界のロック歌手の手形がかざつてあるところです。

お母さんの好きな日本のロックバンドB.B.の手形がどうしても見たくて、ロックウオークに行きました。その手形を見たおかあさんはすごいこころふんしていました。ぼくはいっぱい弟と写真をとりました。

初等部五年二組 山元 夏季

私は四日間、旅行に行きました。行つた所はメー

州のムースヘッドレイクと言う所でした。ムースヘッドレイクは、メーソ州とニュー・イングランドで一番大きい湖です。私はムースヘッドレイクの一番南のホテルにとまつたので、ムースヘッドレイクの全部は見えませんでした。

湖の周りには山がたくさんあります。ムースヘッドレイクは山でかこんであります。ムースヘッドレイクノ周りのトレイルを歩くといい景色が見えます。足もとにはふしぎな種類のきのこがたくさんいました。例えば、一回お花みたいできれいだったので写真をとりました。

夕がたもいい景色を見ることが出来ます。でも、夜になると、「アウアウ」とコヨーテの遠吠えが聞こえました。コヨーテの遠吠えを聞いたのは初めてでした。それにすくびくくりしました。「ここにコヨーテがいるんだ。」と思いました。

このムースヘッドレイクの自然はすごいと思います。この景色の写真もとつたから、いつでも見れるのでうれいします。ムースヘッドレイクでもたくさん楽しい思い出を作つたのでよかったです。

初等部五年三組 高良 菜璃子

今日はキャンプから帰つて来た時、顔のはだが石みたいにかたくて火がもえているような感じでした。わたしは前日、日やけどめをぬるのをわすれていてプールに行つてしまいました。今日もプールから出た時に自分の顔を感じられませんでした。だから今日はキャンプの後にドラッグストアに行つて日やけどめと口にくる日やけどめも買ひに行きました。店の中に入つた時、口の周りがぜんたいにき焼けて、口が見えなくなっていました。体も感じませんでした。家に帰つた時に、お母さんが東京のおばあちゃんが送つてくれ

たソンバーユ―と言う日焼けをした時のための薬をくれました。その薬は馬のあぶらから出きてある薬でした。わたしはもらつたしゅんかんすぐに体じゅう付けはじめました。わたしは始めての日焼けでした。早く治つてほしいです。

初等部五年三組 松原 新

今日は夕方からスリーピングアウトでした。夕食はカレーだったけど作り始めてから作り終わるまで二時間半かかりました。

まず最初にたき火に使うためのまきを拾いました。しらかばの皮がよく燃えました。一分であとかたもなくなりしました。

その次に、にんじん、じゃがいも、たまねぎの順番でなべにいれました。にんじんがかたくてなかなかやわらかくならなくて時間がかりおながへりました。その次に、木のぼうにはんごうをつるしてみんな交代しながらたき火の上にかざして、ごはんをたきました。

最後にカレー粉をなべにいれて少したつとやつと終わりました。外でごはんを作るのは初めてで大変だったけど楽しかったし、時間をかけた分おいしいです。また作りたいです。

六年一組夏休みの思い出

赤間大祐 おいかけて ほたるのひかり つかまえた

土井美樹 星光る タングルートの 暗い空

まるで宝石 空みたいた

本澤新菜 はじめてだ サメと泳いだ 夏休み 魚も

たくさん すこしこわいな

門屋颯人 デイズニー 最後の日には へとへとだ

木原慧人 毎夏の バスケキャンプ 友達と

ボールを追って コートをかける

黒神みなみ 北海道 きれいなニセコで 気球のり

ロングキーン はんごうで たいたこはんの

こげた味

メラ聖布 終わりゆく 夏の日差しが 懐かしい

中村将大 時差ボケだ 夜中の三時に めがさめる

お昼になると ねむくなっちゃう

小幡あさひ おみくじで 大吉出たよ 東大寺

扇浦タコタ ロウタイド かにのかくれ家

サンドバー

扇浦フコタ ハイタイド 風はオフショア 波びより

乙骨位徳 キャンピング 家族で行った

アドベンチャー

長田 将 思い出に キャンプの事が ながれこむ

ブリッツカー慶 たまをうつ 二るいに走る

セーフだぞ

進藤りさ あついなつ せみがざわさわ ないている

ストムスキー恵 八月のオリンピックだ ついにきた

鈴木ほのか

ミュージカル ことはあまり わからない

だけど最後は かんどうの幕

六年二組 心の窓

安倍結花 夏休み 時計のはりが 走ってる

福地直也 飛び立つぞ 青い空へと 日本へと

長谷川絢香 実は今日 体験入学 初日だよ 友達で

きた とてもうれしい

本葉恵実梨 金かく寺 池にもうつる 金かく寺

門屋 遙 夏休み 計画通り 進まない

三井誠子 決まったよ かみの毛を切る 十センチ

いやだけれども 暑すぎるから

安田 怜 夏休み 夏期講習に 行かされる

桑名清正 朝顔よ きれいだきれい 美しい 赤青黄

色 たくさん色

三橋理菜 アラベスク 指がどんどん おどります

大野晴香 千円で ママに買ったよ チューリップ

あの日に渡す 大切な花

ブリッツカー純 ねこの毛は ばさばさぬけて 目が
かゆい

瀬尾尚貴 あわじ島 海で泳ぐぞ しぶきあげ

トービン悠斗 ゆかいだな みんなでおどる

ぼんおどり

私の夏休み

中等部一年一組 ベック ゆうら

今年の夏休みは、日本へ行きましたが、着いてから
色々な責任を持たされました。祖母の家にある(植物以
外)生物と朝・昼・晩のごはんを作るのを手伝うのと風
呂掃除・お湯をくむ責任を持たされました。

金魚・めだか・鯉、そしてどじょうはエサをあげる
だけだから簡単でした。難しかったのは、猫のモモチ
やんでした。エサは猫用のドライフードと缶詰めの混
ぜ合わせたもの。飲み物は、ペットボトルに入ってい
る水と氷を一個。ここまでならまだいいです。でも昔
はのら猫だったので散歩につれて行ってあげなければ
いけないのです。散歩のコースは、裏庭の山です。か
がいつぱい居るので、暑くても長そでのカーディガン
と長ズボンをはきました。穴を掘ってトイレを使った
後、モモチちゃんはカナブンが居る木へ走ります。カ
ナブンを殺そうとして失敗するところが面白いです。
カブト虫が居たら、捕まえて虫かごの中に入れます。
この木はミツがあるので、たまに熊ん蜂が来ます。一
回だけ襲われて、すごく怖かったです。モモチちゃんは
怖がっていなかったのか、何事もないような顔をして
いました。

八月十一日はアメリカへ帰る日でした。飛行機の乗
った時、何か他の空港に着陸する予感がしました。着

陸する一時間前に、キャビン・アテンダントの人が皆にお知らせしました。

「現在、三空港で雨が降っています。もしもの時に、ボストン空港で着陸します。」

私の予感があつてたと思つて、びつくりしました。

機長が馬鹿だったのか、着陸の危ない三空港に着陸するつもりでした。飛行機が下がり始め、雨のしずくが窓にいっぱいありました。死ぬのか生きてられるかよく分かりませんでした。タイヤが地面に着いた時、飛行機はすべりました。一番後ろに座っていたので、すぐ揺れました。私は気持ち悪くなり、鬼太郎袋を用意しました。でも、兄のガムを噛んだら気持ちが良くなりました。それ以来、私は思っていました。あの機長は何を考えていたのだろう。

夏休みの思い出

中等部一年一組 古賀 百合亜

私は夏休みに一つ驚いた事がありました。私は中学校で七月三十一日から、富浦臨海学校に行きました。

目的は、「富浦の海で遠泳すること」でした。初日はバスの中で騒いで、昼頃に到着して、午後から海で練習でした。私は海に行くのは本当に久しぶりだったので、海を見て「すごい！」ってみんなで騒いでました。その日の夜は普通に過ごせたのですが、十時頃廊下に出てみたら先生が階段に座っていてとてもびっくり・・・とちよつと怖かったです。

次の日は普通に過ぎ、三日目。とうとう目的の遠泳をすることになりました。と、いうよりも私は泳ぎが苦手なので、遠泳には行けなかったけど、「樽回り」と言うことをしました。みんなは、

「ラクショーだったよー!!」と言っていたので、どんな感じかと思つたら・・・。半分ぐらい大掻きでもがいていました。しかも付き添ってくれた先生にも

「大丈夫？」とビクビクされていました。

そして三日目の夜になりました。私の部屋では「今夜は盛り上がりようー!!」と言っていました。みんなすぐに寝てしまい、結局私と美香ちゃんと云う子だけになってしまいました。私達はその他の部屋の起きている人たちと外へ出てみよう!!という話になり、外へ出てみました。外は都会とまったく違う様子で、目の前の海も涼しい風もとても気持ちよかったです。一番驚いたのは星いっぱい見えたことです。みんな「ワアー」と歓声をあげ、それはもう「最高!!」という気分でした。その後も、ゲームをしたり話したりしていたら、なんと午前四時になってしまいました。その時私達があんまりにも騒ぎすぎたので、寝ていた子が起きてしまい、みんな怒られてしまいました。その日はごく普通にバスで東京に帰り、母と一緒に川崎の家へ帰りました。

私が日本に居た時の最後の大行事でしたがとても楽しくて、絶対忘れられないような思い出でした。

この夏休みで一番心に残った出来事

中等部一年一組 高井 滯

この夏休み、私は日本に帰りました。一年ぶりの日本なので、どきどきときんちようしていました。アメリカから日本へはすごい長い距離なので、飛行機からおりてくると耳がキーンと鳴っていました。

日本に着いてまず思ったことは、「暑い」ということです。私は大阪生まれで大阪育ちなので、大阪に帰ったのですが、さすが大阪、すごい暑さでした。

おばあちゃんの家に向かうのですが、タクシーに乗る時、スーツケースが四つで(兄と母と帰ったんです)が二つが助手席、あとの三つがトランクでおさまらず、トランクのフタ開いたまま、ひもでしばってなんとか

しました。タクシーの運転ちゃんにも、「こんな事初めてですね。」と言われました。それが、けっこう心に残っています。

おばあちゃんの家に着きました。感動の再会でした。次の日、時差ボケで昼食をしました。

日本のテレビとかを見るのが楽しかったです。その時ちょうど高校野球とオリンピックで、あまり見れませんでした。あと、お風呂も湯船につかりたかったですが、夏は暑いのでシャワーだけで、二回ぐらいしかつかれませんでした。

友達とも遊びました。これが、一番楽しかったです。

プールへ行ったり、買い物したり日本での流行の話やアメリカの話などいろいろしました。中でもプールが楽しくて心に残っています。友達がお昼ごはん割引券をもっていて、牛どん、ラーメン、カレーを食べました。カレーはレトルトだったけど、みんなと食べたのすごくおいしかったし、なにしろ割引きなのでよりおいしく(お徳に)食べれました。だけど、帰り道で少し迷ってしまつて危なかつたです。

みんなで花火もしました。ねずみ花火に火をつける係が一番こわかったです。なぜなら、説明書に火を付けたらすばやく五メートル以上はなれて下さいと書いてあったからです。すごいはくりよくでした。

おばあちゃんとも、買い物に行ったり、映画を見たりして、とっても充実できたと思います。

帰る時、少し悲しかったけど、楽しい夏休みをおくれたと思います。

大冒険

中等部一年二組 トービン 舞由

八月五日、私は母、弟、そして私のおばあちゃんと、おじいちゃん、おばあちゃんの住んでいる兵庫県加古

川市に行く予定だった。私たちは余裕をもって四時半に出た。駅についた時には、まだ晴れていたのだが、新幹線の切符を買っている間に雲行きが怪しくなり、中央線が何かのトラブルで運転を見合わせているとのアナウンスがあった。だが、母が駅員の方に聞いたところ、行けないこともないとのことだったので、行くことになった。

その後は、思った以上に大変だった。一週間の予定だったので、それなりの荷物はあるし、おばあちゃんも速く歩くことはできない。しかも最終的に数えてみると六回乗りかえていた。私は、(人生にはこういう事もあるんだなあ)などとぼんやり考えていたのだが、一番責任のある母は新幹線に乗った時にはとても疲れていた。加古川には二時間遅れて着いた。

私がこのある意味、「大冒険」を経験して思った事は、そういうトラブルを防ぐ方法はないのかな?ということ。駅員や電車を違う方向に向かわせて目的地に着けるようにするなどの対応がもつとスムーズにできればいいなということだった。そして、無茶はしないほうが身のためだということを感じた。

夏休みを過ごして

中部部二年一組 平尾カンナ

私は、アメリカでの初めての夏休みにサマーキャンプに参加しました。そこで考えたことや学んだことなどを書きます。

私が考えたことは、アメリカに来て言語の違う人達とどうやったら仲良くできるか、友達になれるかです。私はまだ満足に英語が話せません。でも、そんな私に話かけてくれたアメリカ人がたくさんいました。みんなが言っていることを完璧に理解できない私に、分かりやすく説明してくれました。私が言っていることが分からなくても、嫌な顔一つせず一生懸命に聞いてく

れました。仲間が私を受け入れてくれていると感じた時、とても嬉しく思いました。

そして最後に発見したことがあります。アメリカ人は、日本人より恥ずかしがらず、自分の思うがままに活動していました。失敗を恐れず、たとえ失敗したとしても仲間が一緒なら、大丈夫、という強い心を持っていました。それに気付いたのは、キャンプがもうすぐ終わるころでした。今では、もつと早く気付いていれば、より楽しめたのではないかと思っています。これらは、仲間なしでは、見つけられませんでした。そして、私の使命だったのかもしれない。

夏休みの思い出

中部部二年一組 小山 緑

私は、六月の最後の方にアメリカにきました。来たばかりのときは見るものが全部めずらしくて、とまどうことがたくさんありました。

一番大変なのは言葉でした。(これから大変だけど)。どこに行っても何を言っているのか全然わかりませんでした。最近では、簡単な言葉ならわかるようになってきたけれどそれでもやっぱり大変です。

来た次の週にはサマースクールに行くことになりました。一日二時間ぐらいの少ない時間の中でしたが、クラスの子も先生も良い人で、楽しい授業でした。わからなかったときには友達に教えてくれたので大丈夫でした。

そして、今年の夏はSWAのキャンプに二週間ぐらいの間行きました。そこではたくさん友達ができてうれしかったです。日本人の子とも、アメリカ人の子とも仲良くなれました。私達が行ったキャンプは、SWA、SWIの時間があり、同じグループの人達と英語や日本語の勉強をしました。SWIは2つのクラスに分かれていて、

私のクラスは下のレベルでした。その中ではみんなあまり英語が上手でない者同士、助け合って勉強しました。先生に言われてみんなで英語の歌をうたったこともありました。(ほとんどの人が嫌そうにうたった)そのキャンプには、タレントショーという行事があったのですがこれは、各グループでそれぞれ何か出し物をするというものでした。SWIでは、「ABCの歌」、「人形劇」、「歌(タイタニック)」、「歌(これは先生が歌っていた)」、「そして「おどり」の計五つを発表しました。当然全て英語でした。初めは、英語の歌なんてうたえないと思っていたのですが、練習する内にできるようになっていきました。うれしかったです。

こんな風に夏休みの間、英語とふれ合う機会が多くあつて本当に良かったです。

夏休みの思い出

中部部二年一組 林田芽英

ガラガラと太陽が光るフィールドにいた私と友達のアニーはシンガードをつけ、スニーカーからスパイクにはきかえた。ティーシャツとショーツをはき、きらくにストレッチしている私達はこれからくる地獄のことはまだ全然知らなかった。

フィールドホッケーのスティックを手に持ち、中にすいとう一つ、ゴーグル、マウスガード、とおかしのバッグを入れたトレッドバッグをベンチの上に置き、他のフィールドホッケーのメンバーが来るのを待った。

「ちよつと早く来すぎたかなあ。」

マニーは私に言った。

「ん。そうみたいだね。」

十五分前に着いてしまった私達はお互いに言い合つた。だが、十五分たつと、他の女の子達が集まつてきた。どこの学校からきたの。そういう感じの質問で他

の子達と仲良くなりはじめっていると、やっと三人のコーチがきた。ほとんど高校生のフィールドホッケープレイヤーズをベンチの上にすわらせ、アテンダンスをとった。私の名前が呼ばれた時、私はとてもドキっとした。

そしてその後ウームアップを始めた。まず最初の地獄だった。百度近くの中で、フィールドを十回も走りまわった。給水が出来なく、そのままストレッチを十分し、マイルをタイムした。それだけで、ウームアップだった。気がおかしくなりそうになり、無我夢中で走り続けた。終わり頃には、気持ちが悪くてはき気がしてきたくらいだった。目が回って、目が一瞬見えなくなつた。そんなのは、初めてだった。夏の間全然体を動かしていなかったことをとても後悔しながら、やっと給水をして、先生の元によろよとかけよった。この日の練習は十三対三のミニゲームだった。一回目の試合で分かったが・・・これはものすごく体力をつかつた。今更やめるわけにもいかないので、一生懸命やったが、練習が終わったところには死にそうだった。フィールドの上によこたわって、目をつぶった私はこれしか思わなかった。

「初日がこんなにきつかったら、明日は・・・」
考えただけで、もう気を失いそうだった。ガクツ。

夏休み中の出来事

中等部三年一組

右田 陽太郎

僕は家族とともにグランドキャニオンなどの国立公園へ行きました。

まずぼくたちが行ったのはザイオンキャニオンというところだ。そこでは池を三つつけました。すごく澄んでいてとてもきれいでした。そのかわりその場所に着くまでの道が険しく、そして、気温も華氏百度

前後もかなり暑かつたです。

その次にはグランドキャニオンは向かいました。そこへは車で三時間以上もかかり移動が大変でしたが、きれいな景色と朝日を見ることができました。朝日を見た時は朝五時位で、気温は十度前後でした。日の出を待つのはつらかつたけれどそれを見た瞬間、おもわずその美しさに「うわぁー」と言ってしまうました。色々大変だったけれど、自然を楽しめてよかったです。

教えるのは難しい！

中等部三年一組 木原 萌

今年の夏は、私は音楽キャンプでアルト・サクセスとフルートを教えました。この音楽キャンプは、四年生になる子供に楽器を教えるキャンプです。チャパクアの小学校の四年生達は楽器を習い始めるんです。このキャンプで教えている先生は元チャパクアのバンドの先生でした。

このキャンプで私は三年生を教えています。最初の二年はアルト・サクセスしか教えませんでした。その時教えるって難しいなー、と何度か思いました。自分がやると簡単なのに、教えてみると意外と難しいです。上手でない子もいるし・・・、「これどうやるの?」とか質問ばかりする子もいるし、「ちよつとだまつて!」とは言えません。教えるときの「コツ」は腹を立てないこととものすごくほめることです。少しでも音とかが出たらほめることが大切です。でも、ほめすぎると相手に「うざいな」と思われるのか心配です。

今年三年目。よし、がんばるぞ! 気合いを入れて行きました。最初の二日はアルト・サクセスを教えました。今年アルト・サクセスは二人しかいなくておどろきました。そして今年教えるのが楽でした。お

もしろい二人組でした。

三日目、先生はフルートを持って来ました。理由はフルートの子を教えるためだったそうです。自分はトロンボーンを吹くので、フルートはだめだって言っていました。私が習い始めたばかりだから教えられないと言いました。先生がフルートの子を教えていたら、指使いと、必ず押さなければいけないキーを押していませんでした。先生に本にはそう書いてないですよと言ったら先生は、「フルートは下手だからね。この子に教えてくれる? 習っているんだし」と言いました。私はえー! と思いました。フルートを教えるのは難しいです。アルト・サクセスとはちがう吹き方で、フルートはとても難しい楽器です。でも、その子はなんとか吹けて、私はとてもうれしかったです。ミッシェン・コンプリートって感じでした。

今回は二週間しか教えられませんが、(本当は三週四週間) また来年とその次の年にやりたいです。